読者のコーナー ハガキ何でも伝言板

2011静岡サイジ

駿 府マラソンに、息子が初挑戦しました。時間切れで完走はできませんでした。

安倍川橋たもとで、孫3人といっしょに応援しましたが、残念でした。40過ぎてのがんばりに、大きな拍手を送りました。(HK)

今 年のサイジといったら、パルシェとセノバのオープンでしょう。パルシェはオープン初日に、セノバはプレオープンに行きました。ただ、両日とも仕事を休んで歯医者に行った後で、麻酔が効いたままの状態でしたが。(AI)

震 災で中止になった催事もあり、今年はいつもの年のようには楽しめませんでした。

でも、大道芸は絶対に行きますよ！毎年脚立を自転車に積んで夫婦で回ります。最初のころに比べると大規模になり、気軽さより気合いが必要かな。あと、近所の秋祭り。もちまきが今から楽しみです。(くたくたうさぎ)

静 岡祭り、夜桜乱舞の踊り、駿府マラソン、安倍川花火大会、夜店市、大道芸。静岡人だというのに、どれも何年も見たことがありません。

そうそう1つありました。浅間神社の神選田という田んぼで、春にお田植え祭、秋に稲の刈り入れ祭があります。春は鳴り物入りでピーヒャラ、ドンドンと打ち鳴らしてくれるので、急いで見学に飛び出していきます。(TA)

安 倍川花火大会に行きました。東京の孫たちが、地べたに寝転がって見られると楽しみにしていたけれど、雨でびしょ濡れ。傘をさしての見物。でも、間近で見られて喜んでいました。(MO)

毎 年8月に江戸時代から続く七夕祭りがあります。町内各戸で軒先に提灯を灯し、七夕飾りのもと、勇壮にお神輿が練り歩きます。神社の境内では模擬夜店が開かれ、老若男女による盆踊りもにぎやかに行われます。

今年は東日本大震災の被災者鎮魂の竹灯篭が神社参道に灯され、例年と異なる雰囲気をかもし出していました。歴史あるこのお祭りがこれからも末永く続くことを祈っています。(T/N)

安 倍川の花火大会が一時中止になった時は残念でしたが、開催されてよかったと思います。

戦没者だけでなく震災で亡くなったかたの慰霊もできたと思っています。(KS)

昔 は新装オープンといえばどこでも飛んで行きました。催事も歳時記に従い、福袋市から歳末セールまでこまめに回りました。

今じゃ細事にこだわらず、栄華盛衰、時の運と無関心。

映画衰退は嘆かわしく、ぜひ大壁画は残していただきたいと願っています。セノバに壁画も移築してほしかったですねえ。誰も覚えていない天守閣に寄付を集めるよりは、皆が知っている文化遺産の大壁画を残すために画策してはいかがでしょうか？(ゴンザエモン)

近況バナシ

5 月のトレインフェスタに行きました。回りを見ても家族連れか男性が多く、女性1人はほとんど見かけませんでした。グッズを買ってひと回りして、滞在時間はたいしたことないけど、年に1度必ず行ってしまうサイジです。

12月号発行の時は既に終わっているけど、大道芸も毎日行きますよ！(KYOKO)

焼 津小川港のサバまつり。焼いてくれたサバがすごくおいしくて、1匹のサバも安く買えます。興津の寒桜まつりもお汁粉が食べられて、上質のあずきが安く買えます。用宗のしらす祭り、岡部のしいたけ祭りもいいですね。(F)

女 性に対する暴力防止の支援者養成講座に参加し、DV、セクハラ、虐待などの勉強をしています。受け取る側によって、冗談みたいなものもDVに変わってしまうことに、ただびっくりしています。(匿名希望)

ハガ伝・次回のテーマ 冬のこんだて

2月号に反映される**冬のこんだて**大募集。冬になると我が家の食卓に登場するメニュー(鍋とか)、冬になると食べたくなるモノ(肉まんとか)、冬ならではの素材(白菜とかカキとか)を使ったこんだて、冬のおすすめレシピ、冬にコレを食べると必ず思い出すエピソードなど、教えてください。そのほか、最近の近況バナシ↓楽しかったこと、嬉しかったこと、びっくりしたこと、立腹したことなど、教えてください。

★応募方法とあて先★
郵便かFAXかEメールで。
〒420-0035 葵区七間町8-20-5F ㈱江崎新聞店
タンタン・ポケタン編集部
FAX 054(255)9491
tantan@eznet.com
★締切★**12月12日(月)必着**
※Eメールで参加の際、可能なかたは件名に『ハガ伝』と入れてください

なにがし日記

11がつ某日 晴れ

☆シネシティザートで初の映画鑑賞。優柔不断のため、チケット売り場での座席選びに苦戦する。シアターにつうじる廊下で映画『シャイニング』のホテルを思い出し、ちょっとどきどき…初めてはなんでもほんとに楽しい♪

☆ワインの試飲会へ参戦。昨年、地酒まつりに参戦した際の失態(へべれけで帰宅、あげくの果てに逆流性食道炎になってしまった)を警戒し、念には念を入れて体調を万全に整えていく。

だがしかし、思いのほか楽勝♪最後まで意識はあったし。あら、私たらほんとはワイン派だったのかしらん?うそぴょん(春)

11がつ某日 晴れ

●外国人が日本の歌を歌うのど自慢大会を見た。出演者は歌がうまいし声量がハンパないから、J-POPが洋楽オリジナルに聞こえるほど。あれだけパワフルにのびのび歌えたら気持ちいいだろうな。と、その時思ったことを、「戦うオヤジの応援団」の皆さんの前で歌う状況になった時再び思った(💧)

●夕飯のフライにキャベツを添えようと思ったら、あいにく切らしていた。代打で白菜を千切りにしてみたら、柔らかくて甘いと大好評!以来、わが家では白菜サラダが定番になった。ごまドレッシングがおすすめ。(あんず)

みんなアツまれ

サークルやクラブ活動のメンバー、仕事や趣味の仲間、ご近所さんなど、あらゆるジャンルの仲間を紹介するコーナーです。

戦うオヤジの応援団 SP静岡

◀会場は交流会でも利用している「自由茶屋」(葵区足久保奥組)。

▶この日、イベントは昼間から日没まで続きました。(一)会員は入れ替わり立ち替わりしましたが、最後までいた会員で記念撮影。皆さん疲れは全く見せず、いい顔をしていました。

戦うオヤジの応援団(以下オヤ応)は、ギター好きなオヤジを応援する全国規模のネットワーク。5年前、SP静岡を立ち上げた3人のうち、現在も活動を続けている世話役の石原敬史さんと松永勝美さんは中学の同級生。文化祭で演奏したのがきっかけで、ギターにのめり込んだそうです。

オヤ応SP静岡には、2人のように学生のころフォークソングでギターにはまったというナイスミドルが、約30名登録しています。毎月第1日曜に会員の交流会があり、それ以外は個人の活動。「ライブやるけど出ない?」と声をかけたり、イベントを企画して交流会第2弾にしたり。各自都合のつく企画に参加するのです。

取材に伺った日は、松永さんのバースデーイベントでした。主役の松永さんを中心に、参加者が順番に演奏&歌を披露し、周りの人はギターやパーカッション、ハーモニカなどで合奏したりコーラスを入れて盛り立てます。

会員の白坂さんが自作の『不況ブルース』を歌うと、「♪あぁ～仕事が欲しいよ、あぁ～お金が欲しいよ」とみんなで大合唱となり、最高潮に盛り上がりました。

かつてのギター少年たちは、実にイキイキとギターを弾き歌っていました。あんなに弾けたら、歌えたら楽しいだろうなぁと余韻にひたりつつ帰り仕度をしていたら、「あれ?まだ歌ってないよね?歌っていきなよ」とお誘いが…。美声をたっぷり聴いたあとに私ですか?と、心の中で半泣きしつつ、腹をくくりました。

でもおかげで客席で聴く以上に、生演奏の迫力を肌で感じることができたのです。きっとこの感覚が皆さんを虜にしているに違いありません。(あんず)

▲世話役の石原敬史さん。

戦うオヤジの応援団SP静岡 d-cafebean@ck.tnc.ne.jp (石原)

※会員の紹介は、戦うオヤジの応援団 検索 から「地域別ネットワーク一覧」をご覧下さい。